

JISA 東京地区会 開催報告

令和 8 年 7 月 2 日（木）、JJK 会館において令和 8 年度東京地区会（講演会及び懇親会）が開催された。参加者は計 118 名であった。



JISA 専務理事・
副会長
高橋 淳氏

冒頭、JISA 専務理事・副会長の高橋淳氏の挨拶により開会し、続いて、JISA 会長の福永哲弥氏が、「事業目標達成に向けての JISA 事業活動において、2026 年 5 月に対外公表した『AI 共生宣言』を共通言語としてお使いいただければと思います。地区会場の場を皆様のコラボレーションの場として、懇親会も含めてご活用いただければと思います」と挨拶した。



JISA 会長
福永 哲弥氏

講演会では、経済産業省 商務情報政策局 総務課 情報政策企画調整官 永野志保氏から「日本の産業競争力強化に向けた AI 政策の最新動向」と題する講演が行われた。日本成長戦略においては AI・半導体は 17 戦略分野の一つであり、2040 年までに 100 兆円以上



経済産業省
商務情報政策局 総務課
情報政策企画調整官
永野 志保氏

の投資見込みであると紹介した。政府は AI モデルの開発支援プロジェクトである「GENIAC」を推進している他、2026 年 3 月に発表した「AI 事業者ガイドライン（第 1.2 版）」について、AI の開発者、提供者、利用者がどのような点に留意してガバナンス体制を構築すべきかを民間主導の柔軟な「ソフトロー」の形で示したものであり、情報サービス事業者が主体的にガイドラインを理解し、自社のビジネスモデルやシステム開発の現場に本ガバナンスの考え方を組み込むことが重要であると強調した。

講演会の後は 7F 会議室にて懇親会が行われ、JISA 理事 河合靖雄氏（TDC ソフト（株）取締役執行役員）が乾杯の挨拶を行い、歓談へと移った。JISA 高橋淳副会長兼専務理事の中締めにより、盛会のうちに閉会した。

（事務局）



（講演会の様子）